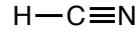
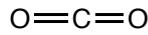


VSEPR理論（原子価殻電子対反発理論）と混成軌道

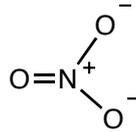
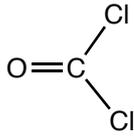
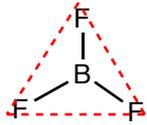
sp混成

直線形

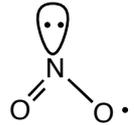
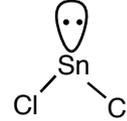


sp<sup>2</sup>混成

三角形

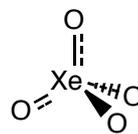
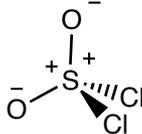
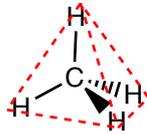


折れ線形

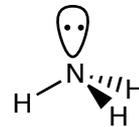


sp<sup>3</sup>混成

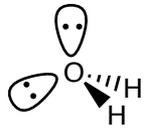
四面体形



三角錐形



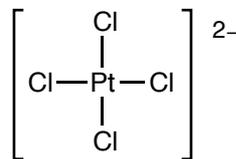
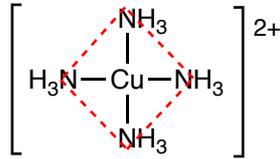
折れ線形



以下はd軌道の関与により価電子殻が拡張している（オクテット則に従わない）

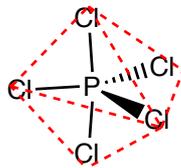
sp<sup>2</sup>d混成  
dsp<sup>2</sup>混成

四角形

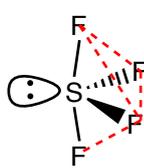


sp<sup>3</sup>d混成  
dsp<sup>3</sup>混成

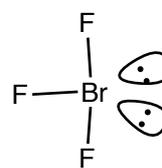
三角両錐形\*



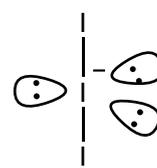
三角両錐形\*



T字形



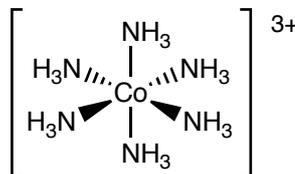
直線形



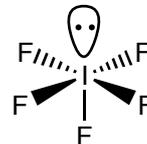
\*原子を結ぶと、三角形を底面として上下両側が三角錐の形になっている。  
右側はゆがんでおり、横から見た形から「シーソー形」とも呼ばれる。

sp<sup>3</sup>d<sup>2</sup>混成  
d<sup>2</sup>sp<sup>3</sup>混成

八面体形



四角錐形



四角形

